

年度	R3
シートNo.	76
所属	出納室出納係
シート名	会計経理

## 業務棚卸表 (総合計画施策説明表)

第五次 総合計画	基本目的	VIII まちづくりのしくみが整い発展できるまち
	施策目的 (上位目的)	27 高品質で生産性の高い行政活動が展開されているまちになる
	施策の方向	

人工	このシートの行政活動(手段)を遂行するための職員数(実配置ベース)	正規 6.0	会計年度任用 1.0	再任用 0.0
	すべてのシートの合算	6.0	1.0	0.0

このシートの行政活動(手段)を遂行するための事業予算額 (R3年度予算額)				
款	項	目	事業名	予算額
2	1	4	会計管理 事業	5,933 千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
			事業	千円
合計				5,933 千円

任 務 目 的	指 標	過去の実績					目 標	達 成	備 考
		H28	H29	H30	R元	R2			
公金の効率的運用、維持管理を行う	事故発生件数	0	0	0	0	0	→	○	
各執行所属及び出納機関の会計事務の円滑な遂行を図る	出納検査指摘件数	0	0	0	0	5	↓	×	

業務コード (2桁・4桁・6桁)	行政活動(手段)	指標	H28実績	H29実績	H30実績	R元実績	R2実績	目 標	達 成	備 考
01	公金管理と公金運用により税外収入の確保を図る	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
0101	安全な管理	事故発生件数	0	0	0	0	0	→	○	
	010101 歳計現金の出納管理									
	010102 資金計画の策定									
	010103 例月出納検査表の作成及び受検									
0102	公金の安全かつ効率的運用	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	010201 基金の出納管理									
	010202 基金運用									
	010203 金融市況、運用情報の把握、活用、研修会等の参加									
0103	公金の適切な会計管理事務	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	010301 決算書の作成									
	010302 財産に関する調書等の作成									
0104	指定金融機関等への適正保管等の指導	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	010401 指定金融機関の検査									
	010402 指定金融機関の契約									
	事業名	公金の管理、運用	年度別決算・予算額(千円)	6,850	5,165	6,208	5,890	5,474	5,933	
02	会計事務の効率的な処理を図る	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
0201	公金の正確で迅速な歳入歳出事務の処理	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	020101 市税等の収入事務									
	020102 公金支払事務									
	020103 歳入歳出外現金の整理・保管及び支払事務									
	事業名	会計事務	年度別決算・予算額(千円)	6,850	5,165	6,208	5,890	5,474	5,933	
03	会計事務職員等のレベル向上を図る	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
0301	会計事務職員の研修等の参加	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	030101 各市会計管理事務職員との課題の研究									
	030102 専門的出納事務講習会への参加									
0302	各所属職員に対する会計処理方法の周知	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	030201 会計処理方法の相談、指導									
	030202 新採用等、伝票初心者対象の職員研修の実施									
	030203 マニュアル、依頼書作成時のチェックシート作成									
	事業名	会計事務のレベル向上	年度別決算・予算額(千円)	6,850	5,165	6,208	5,890	5,474	5,933	
04	市民生活の利便性向上と税外収入の確保を図る	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
0401	切手類の販売による市民生活の利便性の向上	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	040101 自動販売機導入による法務局用の収入印紙(市民課からの移行分)、パスポート用県証紙等、切手等販売									
	040102 手売りによる切手等販売									
0402	切手類の販売手数料による税外収入の確保	適正実施率	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	適性処理	→	○	
	040201 切手類及び県証紙買付手数料									
	事業名	収入印紙等の販売								

第五次総合計画 後期基本計画【H28年度～R2年度】期間におけるシートの総括

○公金運用について、課題であった超低金利の大口定期預金から、H30年度より開始した債券による基金運用も3年目となり、R2年度収益は売却益も含め、H28年度と比較すると10倍以上となった。  
また、基金を幾つか合算し購入することにより、1億円満たない基金も債券運用が可能となり、大口定期に比べ利息を20倍に増やすことができた。  
○会計事務のレベル向上について、各所属職員では、伝票に不慣れな職員に研修を行い職員の底上げを図った。また、伝票起票マニュアルもサンプル等を用いてわかり易いものを作成したことにより、R元年度以降、新人職員からの問合せ数が激減したばかりでなく、新人職員のレベル向上も図ることが出来た。  
出納室の職員では、今年度、担当事務マニュアルを作成したため、人事異動時の引継ぎの際は、改めて作成することなくスムーズに引継ぎを行うことができた。  
○切手類販売について、法務局用収入印紙(市民課から移行分)、パスポート用県証紙等と切手類は、自動販売機を導入することにより、混雑する市民課窓口に並ぶことなく購入することができ、市民生活の利便性が図れた。  
○決算書の作成の際、毎年、2、3課において出納閉鎖後に発覚する数字等の修正が課題だったが、今回、5月の第2回定期払後に仮締めを行ったことにより、早目に問題を把握でき解決することができた。



総括を踏まえた、第6次総合計画につながる今後の考えや方針等

○公金運用については、常に経済や金利動向を把握し、その状況に合わせた運用をその都度判断し行う。  
大口定期の利率が0.002%まで低下したため、債券運用をメインとする。  
また、第6次総合計画の指標として、令和7年度までに累計3,300千円、年に平均550万円の収益を目標としているため、今後も国債等の売買を行い売却益をあげながら、なるべく高い利率の債券を選択して購入し、利息による安定的な収益をあげていく方針である。  
○会計担当事務職員の底上げを図るために、R2年度コロナ禍で講習会に行くことができなかったが、R3年度は専門的な講習会に参加するようにする。  
また、昨年度に作成したマニュアルに新規担当者目線での追記や間違いやすい事項やトラブルを記入することにより、担当替えする度にゼロからのスタートではなく、マニュアルを読むことで前任者の5割程度からのスタートになるようなマニュアルの作成を行う。  
それに加えて、人事異動やコロナ禍での不測の事態を想定し、各担当業務を3名以上が対応できるようにする。